

連載 start

安曇野ならではの手話を紹介  
**手話**を知ろう！ やってみよう！

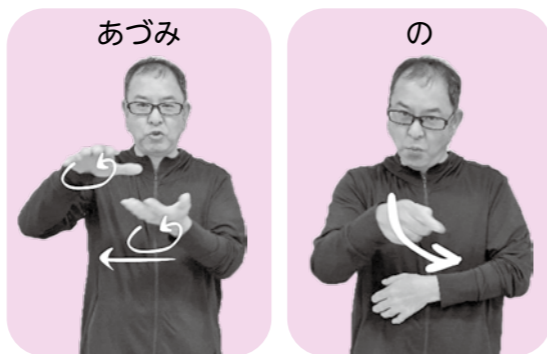
簡単な手話をご紹介します。家族や  
 友達同士でやってみましょう。  
 右記2次元コードから動画でも確認  
 できます。



手話のポイント

“あづみ”は「安曇」の雲をイメージした手の動き、  
 “の”はカタカナの「ノ」を表現しています。

第1回目 「安曇野」



Information

聴覚障がい者に必要な合理的配慮  
 ～きこえない人が必要とすること～

聴覚障がい者が必要とする合理的配慮  
 や必要とする支援とは何かを学ぶ講演  
 会を開催します。



講師  
 道田 久美子さん  
 (安曇野聴覚障害者協会)

日 12月10日(日)

10:00～12:00(開場9:30)

場 市役所4階大会議室

定 約50人

申 11月22日(水)から12月6日(水)

に申込書を障がい者支援課へ直接ま  
 たは電話、ファクスで。申請書は市HP  
 から入手できます。

問 障がい者支援課 Tel71-2083 Fax71-2328



障害者週間パネル展

「障害者週間(12/3～12/9)」とは、障がい者の福祉につ  
 いて関心と理解を深める期間です。この期間に合わせ、障が  
 い者関連団体の紹介や事業者に義務化される「合理的配  
 慮」を、わかりやすくパネルで紹介します。

期 12月2日(土)～10日(日)

場 市役所本庁舎東側ロビー

問 障がい者支援課 Tel 71-2083



MEMO

聴覚障害者に関するマークの一例



◀聴覚障害者マーク  
 聴覚に障がいがある人  
 が運転する車に表示  
 するマークです。



◀耳マーク  
 聴覚障がい者への配慮を  
 表すマークです。

市の取組み

聴覚障がい者の皆さんを支える便利なサービス

01 タブレットを使用した  
 手話通訳サービス



遠隔による手話通訳サービスを市  
 役所窓口で利用できるようタブレ  
 ットを用意しています。  
 閻人權共生課 Tel71-2406



◀手話マーク  
 「手話言語で対応をお願いします」また  
 は「手話言語で対応します」の意味にな  
 ります。

02 市長定例記者会見  
 の手話通訳動画



月に1回、市長定例記者会見の様  
 様に手話通訳を入れて動画で配信  
 しています。  
 閻秘書広報課 Tel71-2400

03 手話通訳者・要約筆記者  
 を派遣します



聴覚障がい者等の社会生活や日常  
 生活でのコミュニケーションをス  
 ムーズにするため、手話通訳者・  
 要約筆記者を派遣しています。  
 閻障がい者支援課 Tel 71-2083

04 手話奉仕員養成講座を  
 行っています



安曇野聴覚障害者協会会員と地域  
 の手話通訳者が講師を務め、手話  
 で日常会話ができる手話技術の習  
 得を目指します。  
 閻障がい者支援課 Tel 71-2083

手話は、ろう者(聴覚に障が  
 いのある人のうち、手話を  
 コミュニケーションの手段として  
 いる人)の集団から生まれ、発展  
 してきた「目で見える言語」です。  
 手や指の形、位置、動きを元に、  
 表情や動作などを使って表現し、  
 目で見て理解します。日本語とは  
 異なった独自の文法を持った視覚  
 言語です。

ろう者や聞こえにくい人には、  
 聞こえなくなった年齢、生まれ  
 育った環境、手話を獲得・習得し  
 た年齢など個々に違いがありま  
 す。  
 子どもの頃から手話でコミュニ  
 ケーションがとれるろう学校や家  
 庭などの環境にいた人もいれば、  
 中学校や高校、大学、大人になっ  
 てからろう者の仲間や手話に出会  
 い、手話を学び、身につけた人も  
 います。  
 ※一般財団法人全日本ろうあ連盟  
 HP (<https://www.jfd.or.jp/>)  
 「手話言語に関する見解」より抜粋  
 手話のほかにも、聴覚に障がい  
 がある人のコミュニケーション方  
 法には指文字、読話、補聴器、筆  
 談などさまざまなものがありま  
 す。  
 今月号では、誰もが暮らしやす  
 い社会を目指し、市が取り組む手  
 話をはじめとするコミュニケーション  
 ションを取り入れた取り組みを紹  
 介します。  
 閻障がい者支援課  
 Tel 71・2083



障がい者支援課  
 島村 瑛子  
 (手話奉仕員養成  
 講座受講生)

目で見える言語  
 手話

Interview



きこえる人、きこえない人  
 両者をつなぐ仲介者

手話通訳者  
 清水 香世さん

Q1. 手話を始めたきっかけは？

19歳の時、職場同僚のろう者ともっと話がしたい  
 と思い手話を学び始めました。手と表情で正確な情  
 報を相手に伝える手話は、まるで魔法のようで、そ  
 の目でみる言語の魅力に引き込まれたのが、手話通  
 訳者を志したきっかけです。

Q2. 手話通訳をする上で気をつけていることは？

ろう者聴者の文化の違いを理解した上で、感情や心  
 理、言葉の意味を正しく理解し、伝えることを心掛  
 けています。  
 手話通訳は、ろう文化を理解し、根気よく言葉を学  
 び続けていくことが必要で、気持ちよく伝わった時の  
 感動や満足感を実感できるものでもあります。とも  
 にこの思いを共感できる手話通訳の仲間が増えると  
 嬉しいです。



障がいの有無に関わらず  
 思いが伝わる社会へ

安曇野聴覚障害者協会 会長  
 川角 卓さん

Q1. どんな時に特に困りますか？

新型コロナウイルスの流行でマスクの着用が日常になりまし  
 た。目元や口元などの表情から情報を得ている聴覚  
 障がい者にとって、相手が口で話そうとしている内  
 容がわからず、とても苦勞しました。  
 社会の中では、音声による情報が多く、生活する上  
 で必要な情報、特に命に関わる情報が得にくいと、  
 感じています。

Q2. どんな配慮(サポート)があると嬉しいですか？

聴覚障がい者は、手話だけではなく、体や顔の表情  
 から情報を読み取ることがあります。この行動を理  
 解したうえで対応していただくと嬉しいです。  
 聴覚障がい者もわかる視覚や触覚によるサイン(例え  
 ば回転灯や電光掲示板)が社会に増え、若い世代に手  
 話通訳ができる人が増えていくと嬉しいです。